

事務事業名	診療所運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	掛合診療所
政策名	総合計画体系 (Ⅲ)地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》	所属G		課長名	松村 千弘
施策名		(16)地域医療の充実	担当者名	安井 久美子	電話番号 (内線)
基本事業名	(046)かかりつけ医制度の普及	予算科目	会計 款 項 目 0:7 0:5 0:5 0:5 0:1	中事業	総務管理事業

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度)	診療科:内科、整形外科、歯科 雲南市国民健康保険、他市町村国民健康保険、協会けんぽ等の被保険者及び被扶養者に対し、保険診療や健康診断、健康相談を行っている。また、介護保険による訪問診療や訪問看護もを行っている。その他、学校医(掛合中学校)、産業医、嘱託医(えがおの里)の委託を受けている。	地域に医療機関が少なく、無医地区にならないよう昭和33年に掛合診療所を開設。昭和38年には波多地区に出張診療所を開設した。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
・一般管理費 15,444千円 ・医務費 543千円 ・医療用機械器具費 2,618千円 ・医療消耗器材費 5,860千円 ・医療用衛生材料費 7,228千円 ・償還金 7,774千円	財源内訳 国庫支出金 千円 県支出金 千円 地方債 千円 その他 千円 一般財源 千円 事業費計(A) 千円		84,584	73,278	39,467	41,210	0	
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費							
診療業務、受付会計事務 支払事務、契約事務、健診受付事務	正規職員従事人数 人 延べ業務時間 時間 人件費計(B) 千円 トータルコスト(A)+(B) 千円		8 14,937 56,970 141,554	8 14,937 58,075 131,353	6 11,408 44,970 84,437	0 0 0 41,210	0 0 0 0	

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	①主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) 内科診療、整形外科診療 歯科診療 訪問診療、訪問看護 24年度計画(24年度に計画している主な活動) 23年度と同様	⑤活動指標							
		ア 内科・整形外科収入	千円	99,104	92,714	50,590	53,637		
		イ 歯科収入	千円	19,405	21,780	17,994	19,299		
		ウ 訪問診療・訪問看護収入	千円	3,200	3,252	2,902	3,120		
		エ							
		オ							

目的	②対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	市民(主に掛合町民) 医療の必要がある場合、他地域でも受診可能	⑥対象指標							
		ア 掛合町民	人	3,594	3,518	3,496	3,340		
	③意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦成果指標							
	健康管理及び健康増進	ア 健康診断受診者数	人	55	56	59	60		
		イ 歯周疾患検診受診者数	人	9	11	10	12		
		ウ							
上位目的	④結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧上位成果指標							
	安心して医療機関を利用できる。	ア 安心して医療機関を利用できると感じる市民の割合	%	61.3	72.1	73.9	65		65
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
診療報酬改定により患者の医療費負担は軽減されてきたが、医療機関においては収入減の要因になっている。カルテの電子化により、「受付」→「診察」→「会計」の流れがスムーズに行えるようになった。掛合町内で運行する「だんだんタクシー」の導入により、交通手段の少ない高齢者等でも定期的な通院が可能になった。平成20年度より市民部から健康福祉部へ所管部署が変更。	・平成23年度より院外処方実施 ・平成23年10月より整形外科診療開始	かかりつけ医として住民から頼りにされており、また交通手段が限定される住民や高齢者からも存続および充実が望まれている。

事務事業名	診療所運営事業	所属部	健康福祉部	所属課	掛合診療所
-------	---------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 地域に医療機関が少なく医療の充実が図れないため、公的医療機関(診療所)を設置し、医療の提供が必要と考える。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 医療機関が少ないため医療の充実(地域医療の確保)が十分に図れない。他医療機関等の参入が見込めないなか、無医地区とならないよう公共の関与が必要と考える。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 医療の対象は限定されるものではない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 平成23年10月からは整形外科診療を開始しており、現在の診療業務以上のサービス等を行うのは難しいが、患者様が気持ちよく利用できるような環境づくり等で出来ることに取り組んでいる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 交通手段が限定される住民や高齢者等は、他医療機関への受診が困難。医療が必要でも受けられない人が増加する可能性がある。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はありますか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 健康福祉部門との連携が図れれば成果の向上は見込めると考えるが、他の医療機関との調整もあり難しい。規模的に全市的な事業展開は困難と考える。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 23年度から院外処方を実施し、薬に係る経費を削減。また環境マネジメントや職員の意識向上を図ることにより消耗品費等においても削減が考えられるが、それも限界。医療の提供に必要なものに関しては、購入、維持管理を行っていかねばならないためこれ以上の削減余地はないが、無駄がないよう効率的に業務を進める必要がある。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 23年度から院外処方を実施したことにより人件費が削減された。(正職員1名減) 業務委託については、医療機関であるため受託先の確保が困難と考える。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 交通手段が限定される高齢者等でも、だんだんタクシーで受診出来るようにしている。また波多地区については週1回の出張診療がある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	医療機関が少ないため無医地区にならないよう公的関与により医療を充実していかなければならない。一医療機関として事業運営するよりも市直営の医療機関として各部署との連携を図ることが出来れば、より良い医療の提供が出来ると考えるが、通常の診療業務以上にサービスを行うことは人員的にも予算的にも難しい。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								
特になし																								